

## 全体評価（案）

### 評価結果

#### 全体として年度計画及び中期計画のとおり順調に進捗している

#### 大項目評価及び小項目評価

項 目	評 価 項目数	ウェイトを考 慮した 項目数	小項目評価					大項目評価
			5	4	3	2	1	
第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	14	23		7	16			A 順調に進んでいる
第 2 業務運営の改善及び効率化	5	7			7			A 順調に進んでいる
第 3 財務内容の改善	6	10			10			A 順調に進んでいる
第 4 その他業務運営に関する重要事項	3	4			4			A 順調に進んでいる
合 計	28	44		7	37			

\* 評価項目の中で、「市民病院としての公的役割を果たす上での重要項目」及び「平成 28 年度計画重点項目」についてウェイトを 2 としている。

\* 小項目評価

- 5・・・年度計画を大幅に上回って実施。
- 4・・・年度計画を上回って実施。
- 3・・・年度計画を順調に実施。
- 2・・・年度計画を十分に実施できていない。
- 1・・・年度計画を大幅に下回っている。

\* 大項目評価

- S：中期目標・中期計画の達成に向けて、計画を大幅に上回り、特に評価すべき進捗状況にある（評価委員会が特に認める場合）
- A：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる（すべての項目が 3～5）
- B：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる（3～5 の割合が 9 割以上）
- C：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている（3～5 の割合が 9 割未満）
- D：中期目標・中期計画の達成のためには大幅に遅れている又は重大な改善すべき事項がある（評価委員会が特に認める場合）

## 判断理由

第2期中期計画の3年目となる平成28事業年度においても、理事長、院長以下職員が一丸となり、中央市民病院は、市全域の基幹病院として、西市民病院は、市街地西部の中核病院として、地域医療機関との連携及び役割分担のもと、市民の生命と健康を守るという役割を果たすとともに、病院機能の向上に適切に取り組んだ。

中央市民病院は、第2救急病棟、精神科身体合併症病棟(MPU)<sup>※1</sup>の開設、また、厚生労働省が実施する「全国救命救急センター評価」<sup>※2</sup>において、総合評価で3年連続全国1位となるなど、西市民病院は、24時間365日救急医療体制を維持し、救急外来患者数及び救急車搬送受入れ件数は減少したものの、救急入院患者数が増加するなど、それぞれ「断らない救急」の実践を行った。

また、両病院とも、平成28年4月に発生した熊本地震において、被災患者への支援を行うとともに、侵襲性の低い治療や手術に取り組むことで、高度・専門医療の充実に努めた。

さらに、中央市民病院においては、iPS細胞を用いた網膜色素上皮細胞移植の臨床研究を行う体制を発足させ、第1例目の移植手術を実施し、臨床研究及び治験<sup>※3</sup>を推進するなど、医療提供体制の向上を図った。

職員の人材育成面においても、研修制度の充実に努めるとともに、人事評価体制を整備し、働きやすい環境づくりを行っており、平成28事業年度についても、引き続き、市民病院としての役割を発揮していると評価した。

病院を取り巻く環境が厳しい中において、平成27事業年度に続き、経常損益は2年連続の赤字となったものの、組織目標の共有化や経営改善への意識の向上を図り、収入の確保、費用の縮減にも積極的に取り組む等、経営改善に向けた様々な努力を行っており、経営基盤の安定性は、維持されていると判断した。

このように、質の高い医療を安全に市民に提供するという市民病院としての役割を果たすとともに、計画を達成するための効果的な取り組みが行われており、以上の実績を総合的に判断し、平成28事業年度の業務実績に関する評価については「全体として年度計画及び中期計画のとおり順調に進捗している」とした。

なお、平成29年4月には、西神戸医療センターが事業移管されるとともに、中央市民病院と先端医療センター病院との統合、神戸アイセンター病院の開設が控える中、医療の質や安全の確保等に十分配慮した上で、地方独立行政法人制度の特徴を生かし、機動性、柔軟性及び透明性を高め、これまで以上に効率的かつ効果的な病院運営を行うことで、市民病院としての役割を果たすための取り組みに努力されたい。

### ※1 精神科身体合併症病棟(MPU)(Medical Psychiatry Unit)

主に薬物中毒患者、自傷による身体損傷を負った患者、自殺企図患者等、精神疾患とともに身体疾病の治療を行う専門病棟。

### ※2 全国救命救急センター評価

平成11年度から救命救急センター全体のレベルアップを図ることを目的として実施されており、診療体制や患者受入実績等に関する報告に基づき、点数化された評価。

### ※3 臨床研究、治験

臨床研究とは、治療方法の改善や病気の原因の解明、患者の生活の質の向上などのために行う医学研究。また、治験とは、厚生労働省から医薬品、医療機器、再生医療等製品として承認を受けるために行われる、実際の患者等を対象に有効性や安全性について調べる臨床試験。